

様式 5

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	結核予防費補助金	開始 年度	平成17年度
団体名	私立学校10校, 社会福祉施設18施設	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定 等 (条例・規則・要綱等)	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(国) ・函館市補助金等交付規則 ・函館市結核予防費補助金交付要綱 ※対象が個人の場合は <input checked="" type="checkbox"/> 不要		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第53条の2第1項の規定に基づく定期の健康診断で、学校の長または施設の長が行う事業に対し、補助金を交付する。
目 的	(目的) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関し必要な措置を定めることにより、感染症の発生を予防し、及びそのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする。
・ 効果	(効果) 結核患者の早期発見・早期治療及び結核のまん延防止に寄与することができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経(単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	R元 (決算)	563					282	845 □
	R2 (決算)	494					247	741 □
	R3 (予算)	681					341	1,022 □
	R3 (決見)	585					293	878 □ ※1
	R4 (要求)	662					331	993 □ ※2
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		
R元 (決算)		845						845 □
R2 (決算)		741						741 □
R3 (予算)		1,022						1,022 □
R3 (決見)		878						878 □ ※1
R4 (要求)		993						993 □ ※2

※1 補助事業にかかる決算確定後(実績報告時等)速やかに更新 ※2 予算内示後速やかに更新

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	結核予防費補助金
----------------	----------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する 事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	必要性(補助しなければならない 事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	自主性(自主自立に向け努力して いるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	有効性(他の手法ではなく補助す ることが、施策目的実現に最適 か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内 である	<input checked="" type="checkbox"/>	「感染症の予防及び感染症の患者に対する 医療に関する法律」第60条において2/3 補助と定められており、変更の予定はない。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保している か)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	結核予防費補助金
----------------	----------

補助金の見直しについて

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

助成開始の平成17年度より本市において補助団体における結核の集団発生は起きていない。

(達成状況)

令和2年度実績: 私立学校 8校
社会福祉施設 12施設

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	助成開始の平成17年度より本市において補助団体における結核の集団発生は起きていない。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容※現行のまま継続の場合はその理由を記載)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(見直しの時期)

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	国の制度の改正に合わせて見直しを検討する。

○終期の設定 ※3年間を目標とした終期を設定し, 終期到来年度には必ず見直しを検討すること

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和4年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和6年度

1 見直しの視点

見直しの視点	見直しの具体的な内容
1 補助目的の効果が達せられたもの	令和4年度予算から廃止
2 社会情勢の変化等により現在の実情にそぐわないもの	制度を見直し, 廃止または削減(段階的削減を含む)
3 事業内容の見直し	補助事業の内容の見直しにより削減
4 終期を設定し, 補助しているもの	終期期限において廃止
5 国, 道制度に上乗せしている超過負担額のあるもの	令和4年度予算から見直し
6 団体運営費など長期間継続して補助しているもの	令和4年度予算から見直し

2 見直しの方向

- ① 令和4年度予算で廃止が可能なもの
- ② 廃止を前提に, 段階的に削減可能なもの
- ③ 団体の内部努力により, 一部減額が可能なもの
- ④ 補助期限の設定が可能なもの
- ⑤ 委託あるいは融資制度等に移行が可能なもの
- ⑥ 類似目的の補助金で統合が可能なもの
- ⑦ 特別な理由で増額を必要とするもの

3 団体への指導

- ① 自主財源の増額(会員等の増員など)
- ② 団体の統合化, 組織化
- ③ 補助金の終期設定(サンセット事業)とその周知